

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳圓 廣告費 五字一行 一日五錢 一月一元五角 三月三元 半年六元 一年十二元 郵税五錢 印刷費 五十錢 日刊 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日五月三

寄書

新しいものと 桑田芳藏 (四)

かくの如く原始的の文化がそのまゝ文化人に顯現して来る許りでなく、その意味を變へて傳る場合が少なくない、語の意味の變遷の如きもそれである。古今同一の語でもその意味が多きは變つて來て居る、手近な所で、ハイカラの語は初めは主として高いカラをして居る人即ち外形的方面を指したのであるが、後には和服

を見て居ても猶ハイカラと云はれるほど精神的特徴を指すやうになつた。一般に言語の歴史を調べて見ると語の意味は變化して居る。これは同一の語であつてもその意味即ち概念内容の變つて居ることを表示して居るのである。殊に外部的の形を取つて居る風俗は多くはこれに屬する。風俗は傳承的のもので保守的傾向を有する、長い間にはその外形も簡單化し、又は變形するが、そのまゝ傳はつて來る場合もある。併しこれに伴ふ心理的動機は變遷し易い。例へば死體を埋葬する風俗の如きも今日まで行は

れて居るが、今日に於ては在來の風俗であるから、これに隨ふことが主要な動機になつて居る。併し初めはこんな動機でなく、死體の恐怖から地中深くこれを埋めてそれが出て來られないやうにした爲である。又結婚の時の結納の風もその初めは購買婚の目的から起つたと云はれる。生産學に於ては退化した器官は新しい役目を再び奏することなしに遺留器官として殘存するだけであるが、これ等の風俗の場合に於ては遺留した風俗が新しい動機を伴つて來る場合がある。

理想的耐水耐熱接合劑 **キングパスト**

○水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑 一名コナニカワ

○四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的だす

○理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し

小野屋藥店 電話一四四番

貸家案内

五丁目 勤人向 金四、五〇
長橋町 全 金五、五〇
舊城跡二ノ丸 全 金八、五〇
柳町 全 金六、五〇

加藤營業所 白銀町(電話三二番)

看護婦派出的 平看護婦會 電話三〇七番

美味で 田町 味のイロキザン 電話三五二番

各種 體操 關内藥局 電話二〇番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

◇主治効能どんな難瘍でも淋なら三日のんだらピツタリとまる

治淋 **トリプチン**

定價 三日分 金壹圓、七日分 貳圓

トリプチン特約一手販賣店

大平屋藥店 電話六四二番

如神効驗、病苦即除、一度ためして其眞價を知るべし

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院 平町仲田町(電話五五九)

原齒科醫院 平町土橋通り電話三一〇番

美味滋養 **シユークリーム** 一ツ五錢

目丁四平 **ヤトモツマ** 番四一二話電

母繁子永々病氣の處療 養相叶はず本日午後二時半遂に死去致候間此段御通知申上候

追て葬儀は來七日午後一時自宅出棺青雲院に於て佛式相營み可申候

昭和五年三月四日

男 佐々木龍若 親戚 佐々木節次郎 清水廣政 松本喜作 總代

六日寫眞替り 通普金料

血の仇

日活江戸文學現代劇 酒井米子久々の主演 名殘浮名ざんげ 南部章三・徳川良子・神田俊二・村田廣壽

松竹右太プロ大作 市川右太衛門 主演

捕物? **素手鉢** 原作……妹尾利久三 監督……長尾史録

映上篇前・劇代時續連 子京井櫻・清田澤 郎二寛井永・治文小川市

館平 竹松活日

鐵道納炭減量で 各炭礦に恐ろしく

社員や労働者を約一割減首 山元に重役が出張

常盤各炭礦は政府の緊縮方針に基き四月一日以降の鐵道納炭が三萬噸の減量となり剩一噸當り五十錢安となつた爲め各炭礦の協議機關たる本礦會にては協議の結果炭價維持策として出送炭の七分制限を行ふの外來る廿五日頃迄に社員及び労働者を一割乃至五分の整理を斷行する事と決定し既に昨日山元には重役が出張して炭首者の調査を開始した由にて炭礦には脅恐慌來を傳へられて居る

緊縮の血祭りよ 兒童を供すは不可

委員會にて議論沸騰

平町明年度豫算委員會は三四の兩日開會されたが未だ結了するに至らず本五日も續行中であるが斯く延引するに至つた理由は學級整理が問題の中心となつた爲めに學級を六學級減少するの結果として一學級當りの收容兒童數増加し教授上遺憾の點多く緊縮の血祭りに兒童を犠牲とするが如きは甚だ香しからずとの議論擡頭せる爲めに結局原案よりも二三級を増加する事となるらしく是等修正案は明六日の本會議に附議されると

忠魂碑掃除 陸軍記念日に

平在郷軍人が

平在郷軍人分會にては来る十日の陸軍記念日を卜し午前八時半に子亭に參集、忠魂碑の掃除奉仕をなし同九時より總會を開き山内大佐花澤中尉其他老兵會員二三の奉天開戦の回想談あり正午から同亭前梅林に於て園遊會を催すと、會費八十錢

委員の選舉 平町は十五名

既報平町に於ては近く家屋稅調査委員十五名の選舉を執行する筈であるが選舉期

湯の嶽焼く 五十餘町歩

湯の嶽公有林地内より昨日午後五時半頃發火四方に燃え廣がり五十餘町歩を焼き

月見橋下に…… 老人の溺死体浮む

誤つてすべり落ちたか 前額部に打撲裂傷

本日午前七時頃平町新川町月見橋下に年約七十歳の老人の溺死體が浮んで居たのを通行人が發見平署に届けたが取調の結果平町材木町生命保險代理店小林總吉實父金太郎(男)と判明同人は昨日正午頃家を出たま、歸らぬので家人が心配の餘り搜索してゐたものにて死者は前記川岸を通行の際誤つて下り落ちたもの、如く前額部に打撲裂傷を負ふて居たと

馨中卒業生 優良其他氏名

既報来る七日卒業式を舉行すべき馨中學校優等生精勤者及び卒業生氏名左記の如くである

- ▽學業操行優良生 猪狩良彦、細島止夫、伊藤和衛、根本和、根本四郎、荻野謙一、中根武夫、村松義之、秋元藤之助
- ▽在學五ヶ年間正副組長 勤毅、根本和、細島正夫、根本四郎
- ▽在學五ヶ年間精勤 根本和、助川政射、渡邊弘、舟生保男、宮本義門、柏原正一、阿保正、小野彌、阿部延三、鈴木菊男、殿本正男、國井榮三郎、井細島正夫、篠原登雄、井出和一、根本四郎、橋六

拂つて午後九時頃やつと鎮火したが右地内は裸山で幸ひ損害は無かつたと

小柳知事排責に…… 政民兩派が共同戦線

比佐代議士が上京して 安達内相に直談判

平町民の熱烈する水道擴張工事費起債案は年度末近く今日に至るも許否の指令に接せぬので町當局はもとより町民間には現内閣不信の聲が出初め

不信の 聲が出初め

たので昨秋來解決に苦心して居る比佐代議士は三日夜上京安達内相に面會直談判を開始したが同問題は中間の縣當局が何故か未だに調査に名を借り引のばして居る事判明したので政友派町

花見の準備 不景氣に

しびれを切らして 選挙氣分全く失せた今日此頃

選挙氣分全く失せた今日此頃平地方は日増しに春めき立ち松ヶ岡南崖の梅園は杖曳く人群れ相當の賑ひを見せて居るが来月に入れば書入れの花時だと氣早な連中

列車に飛ぶ 遂に死亡

昨日午後二時十八分着下り列車が平驛構内に入らん

がもうポツ／＼花見準備に取りかゝつた者もあり例年公園地内に賣店や掛茶屋を開く連中の内には既に役場に借地の許可を願出た者もある

建築工手が 列車に飛ぶ

昨日午後二時十八分着下り列車が平驛構内に入らんとして際構内通行中の者が列車の爲めに跳ね飛ばされ人事不省に陥つたが右は平町仲間町居住平保線區建築工手影山(三)とて直ちに高久(一)に入院せしめ應急

母堂逝く 葬儀は七日に

平町柳町々會議員佐々木龍 若氏母堂繁子刀自は永らく

手當を施したが午後五時頃遂に死亡した

募集 文藝其他投稿

て佛式を以つて營む由因に刀自は元判事佐々木綱記氏の賢夫人として聞こえ享年七十三才惜まれて居る

健胃 小野常治謹製

の日明
報豫氣天
晴れ
北西の風
曇り一時

健胃 小野常治謹製

造、中山三郎、中野五郎、成田末太郎、村松義之、浦山貞一、遠藤誠志、遠藤正一、遠藤剛克、江尻千男、野本孝雄、草野治郎、草野一、國井文吉、國井榮三郎、橋田敏也、熊谷格夫、矢内吉明、八代浩二郎、谷口武久、山内義五郎、山部順治、矢部繁二、馬目英一郎、松田清、松田茂男、松井伊佐雄、松井元、松本正夫、松崎武勇、益谷好信、船生滿、舟生保男、福尾利清、古内政雄、小松達也、小松主税、小松周一、小松正治、小松茂、小林芳好、小林正義、小川政芳、阿部延三、阿部喜平、秋元貞彦、秋元藤之助、赤塚良平、阿保正、有馬公男、佐藤一、佐藤弘道、佐藤要司、坂本誠、佐藤善介、坂本徳治、齊藤本喜平、坂本徳治、齊藤馨、齋藤六郎、作山道男、作山勝吉、酒井恆夫、坂井四郎、齋藤治、坂本重頼、木田義雄、木村晃、北村東一郎、城戸泰正、水野龍雄、水野良吉、緑川貞雄、宮崎陽、水野市郎、宮本義門、志賀傳吉、首藤進、篠原壽雄、篠原龜鶴、白石由雄、東海林博、廣川登志雄、瀬谷洋一、鈴木豊次、鈴木浄、鈴木孔秀、鈴木榮一、鈴木孝平、鈴木良平、鈴木殿郎、鈴木菊男、鈴木芳正、鈴木進、鈴木泰雄、鈴木清、須藤甚一、助川兼夫、助川政射、杉山慈郎(以上百八十一名)